平成26年８月10日（日曜日）

“ふるさとちば”のための政策推進を

滝田（たきた）敏幸（としゆき）県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855　千葉市中央区市場町２番13号　電話 043（227）7411

千葉ＮＴ「旧成田新幹線・県有地」

メガソーラー来夏稼働へ

県議会随一の論客として注目される印西市選出の滝田敏幸（たきた・としゆき）県議は６月24日、２月定例会に続き本会議で17度目の登壇。千葉ニュータウン未処分地の利活用や北総鉄道問題など、県政の重要課題について森田健作知事はじめ執行部と質疑を行いました。また、総務防災常任委員長として、大雪農業被害への県の対応や指定廃棄物処理、消防団教育と訓練の充実などで具体的かつ実効性ある政策を提言。千葉県政において、その政治手腕が評価され発言力と存在感を高めています。

総務防災委員長として17度目の登壇

登壇し、一般質問を行う滝田敏幸県議

６月県議会一般質問

滝田議員　千葉ニュータウン事業は、約半世紀にもわたる長い時間をかけて、畑や山林が主だった下総台地に、１９３０ヘクタールにも及ぶ北総の中核都市を形成してきた。

東洋経済新報社による「全国都市住みよさランキング」で、本年も３年連続１位になったように、県企業庁の事業も、半世紀の時間をかけて、ようやく陽の目を見た。

しかしながら、新住宅市街地開発事業が完了した平成25年度末においても、地区内に２８６ヘクタール、地区外に64ヘクタール、併せて３５０ヘクタールもの未処分土地、すなわち県有地を抱えている。よって、これらの土地の処分を進めることなしに、事業が完全に終了したとは言えず、今後の整備の進捗が気になる。

企業庁と都市再生機構では、今後も土地の取りあつかいに係わる基本的な考え方について合意し、平成26年２月に基本協定を締結したと聞いている。

そこでうかがうが、千葉ニュータウンの未処分土地の扱いに関し、都市再生機構と締結した基本協定の内容は、どのようなものか。

企業庁長　企業庁は、新住宅市街地開発事業終了後も未処分土地が約２８６ヘクタール残ることから、その処分等を図るため、本年２月、独立行政法人都市再生機構と「千葉ニュータウン事業の清算に関する基本協定」を締結したところです。

基本協定の主な内容は、「平成30年度末までを清算期間とし、都市再生機構と共同で事業を進めていくこと」「千葉ニュータウン事業区域外の土地や成田スカイアクセス沿線用地は、企業庁が単独で所有し、処分を進めていくこと」というものです。

滝田議員　事業区域外に所有する土地について、どのように処分していくのか。

企業庁長　企業庁では、事業区域外に所有する土地の処分にあたっては、「未造成土地処分要綱」に基づき、市町村における公共活用を優先することとしており、現在、地元市である印西市及び白井市と土地の譲渡について協議を行っているところです。

なお、市が取得を希望しない土地は、公募や隣接地所有者などへの処分を検討してまいります。

再質問　**滝田議員**　県の単独所有となった成田スカイアクセス沿線用地については、北千葉道路から進入すること自体、容易でないことから、処分困難地であると思われるが、どのように処分していくのか。

企業庁長　成田スカイアクセス沿線用地については、そもそも鉄道のための用地でしたので、延長約15キロメートル、平均幅員が12・５メートルの土地であり、この土地の形状に適した利用方法を考える必要があります。そこで太陽光パネル用地としての利用に向けて、事業者への貸付などを含め、現在、検討しているところです。

印西市特集

北総鉄道耐震化の早期事業化を要望

滝田議員　北総線の耐震化支援の意義について、県はどのように考えているのか。

知事　鉄道施設の耐震化については、国が東日本大震災以降、国土強靭化策の一環として、空港アクセスや利用客の多い路線の安全性の強化のために、支援措置を拡充しているものです。

北総線が耐震化されれば、地域住民や鉄道利用者の安全性、利便性が確保できることはもとより、千葉ニュータウンを中心とした沿線地域の住環境の向上にも寄与するものと考えています。

再質問　**滝田議員**　北総鉄道の耐震化支援事業の実施に向けた取り組みの状況はどうか。

副知事　耐震化の実施については、白井市が事務局となって協議会を開催しています。現在、事業者から事業の詳細について聴取しているところであり、今後も、白井市を中心に検討を進めていくものと考えています。

県としては、沿線６市が一丸となって、耐震化支援の実施に着実に取り組んでもらえるものと期待しており、県もしっかり協力をしてまいります。

要望　**滝田議員**　なるべく早く北総線の耐震化事業を進めていただくことを、県に要望する。

たきた敏幸・PROFILE

□略　歴□

- 1960年　印西町大森生まれ　大森小、印西中　県立我孫子高校卒
- 1982年　同志社大学卒業
- 1999年　印西市議初当選
- 2003年　印西市議再選
- 2007年　千葉県議初当選
- 2008年　印西市消防団副団長
- 2009年　総合企画常任委員長
- 2010年　千葉県ラグビー協会長
- 2011年　千葉県議再選
- 2013年　総務防災常任委員長

□現　職□

- 県議会　議会運営委員会委員